

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 (ホ)本書のご提示がない場合
 (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
 (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	2.1chスピーカーシステムLX		★お買い上げ日:	年	月	日
型番	ASP-217N	品番	03-3147	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)		
お客様	★お名前		様			
	★ご住所 〒		()			
修理メモ						
販売店	★住所 店名 電話		(印)			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
 ●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
 電話受付 平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00
 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター** へ
 電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00~17:00
 土・日・祝日及び年末年始は除きます

03-3147A

AudioComm®

取扱説明書 保証書付

2.1chスピーカーシステムLX
 型番: ASP-217N 品番: 03-3147



このたびは、AudioComm® 2.1ch スピーカーシステム LX を
 お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
 本機の性能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
 ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
 ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

免責事項	1	故障かなと思ったら	6
安全上のご注意	1~3	主な仕様	6
各部の名称	3	お手入れ方法	6
接続・設置のしかた	4	保証書とアフターサービスについて	6
操作のしかた	5	保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間および経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について


この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。


危険 この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。


警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。













注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

 △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)

 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)





 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

 警告			
 コンセントから抜く	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。 	 接触禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本機および電源コードに触れない
 コンセントから抜く	<p>万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。 	 禁止	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。
 分解禁止	<p>本機を分解、修理、改造しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因となります。 	 禁止	本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 禁止	<p>海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。 	 禁止	電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
 修理を依頼	<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。 	 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
		 禁止	浴室、台所など湿気の高い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。

注意

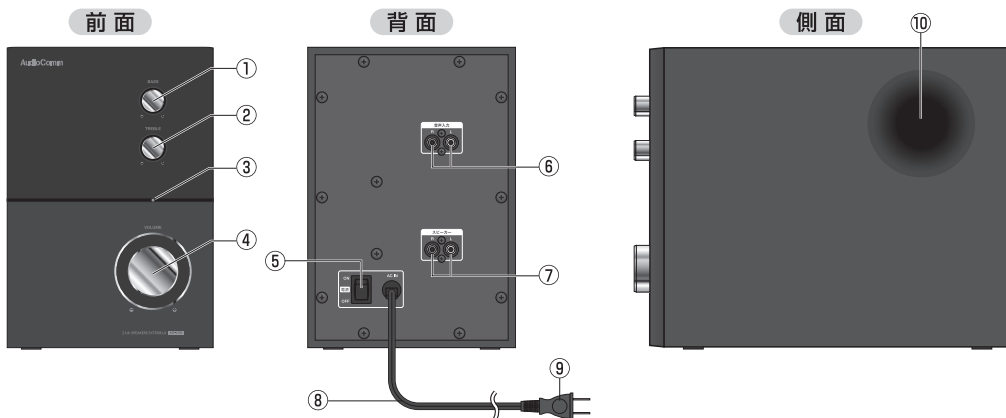
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ぶくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 濡れ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。
 禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	 禁止	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。

⚠ 注意

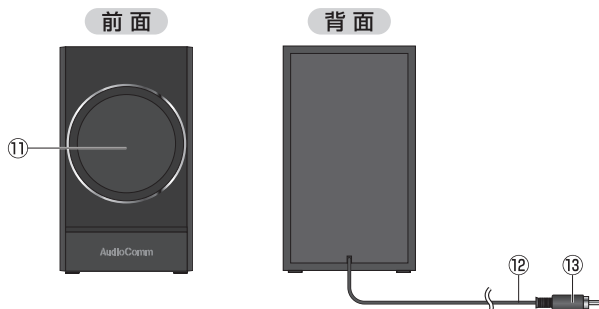
 コンセントから抜く	お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。	 コンセントから抜く	旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。
 コンセントから抜く	移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	 音量は小さく	電源を入れた後、接続機器の音楽等を再生する前には、音量を抑える ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

各部の名称

アンプ内蔵サブウーファー



サテライトスピーカー



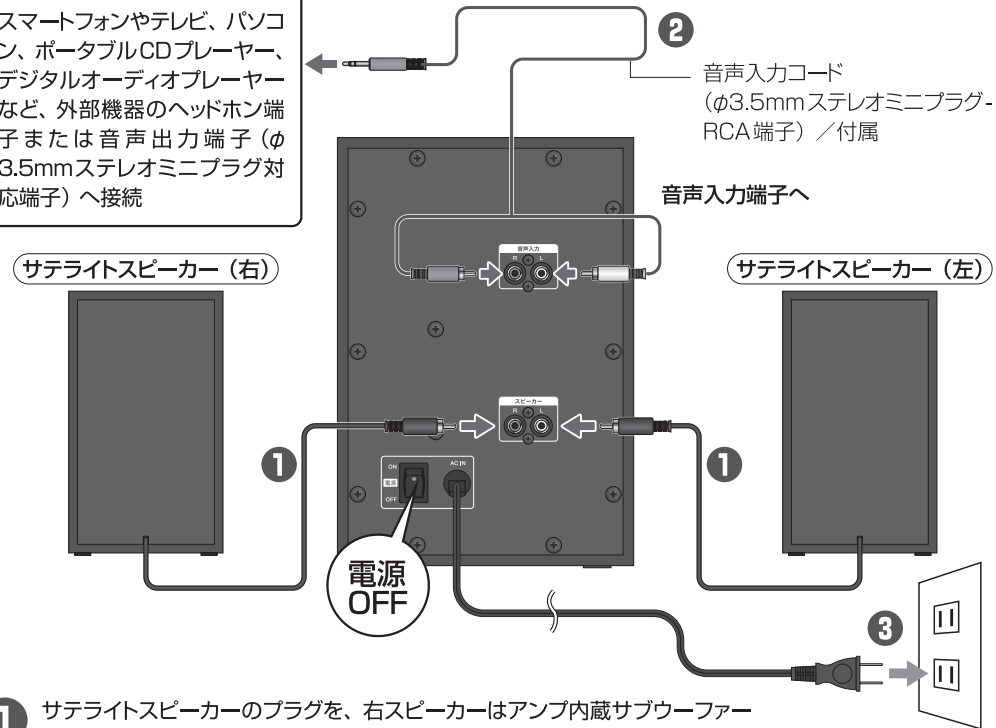
2つのサテライトスピーカーは同じですので左右どちらでも任意にお使いいただけます。

- ① BASS (重低音) ツマミ
- ② TREBLE (高音) ツマミ
- ③ 電源ランプ
- ④ VOLUME ツマミ
- ⑤ 電源スイッチ
- ⑥ 音声入力端子
- ⑦ スピーカー出力端子
- ⑧ 電源コード
- ⑨ 電源プラグ
- ⑩ バスレフダクト
- ⑪ スピーカー
- ⑫ スピーカーコード
- ⑬ スピーカー接続端子

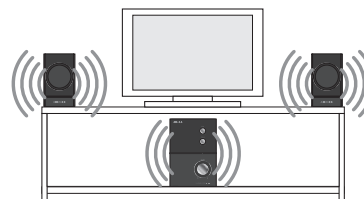
接続・設置のしかた

ご注意 外部機器および本機の電源が切れた状態で各コードを接続してください。

スマートフォンやテレビ、パソコン、ポータブルCDプレーヤー、デジタルオーディオプレーヤーなど、外部機器のヘッドホン端子または音声出力端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ対応端子) へ接続



- ① サテライトスピーカーのプラグを、右スピーカーはアンプ内蔵サブウーファー背面のスピーカー出力 (R) 端子へ、左スピーカーは同 (L) 端子へ接続する
- ② 付属の音声入力コード (φ3.5mmステレオミニプラグ-RCA端子) を使って、スマートフォン等のヘッドホン端子、または音声出力端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ対応端子) とアンプ内蔵サブウーファー背面の音声入力端子を接続する
※ RCA端子の赤いプラグをR端子、白いプラグをL端子に接続してください。
- ③ 最後に電源プラグを家庭用コンセントに接続する



【テレビの場合のセッティング例】

正面にアンプ内蔵サブウーファーを置き、そこから左右等距離の位置にサテライトスピーカーを設置すると、バランスのよい2.1chサウンドをお楽しみいただけます。



【ノートパソコンの場合のセッティング例】

パソコンの背後にアンプ内蔵サブウーファーを置き、パソコンの両側等距離にサテライトスピーカーを設置すると、バランスのよい2.1chサウンドをお楽しみいただけます。

操作のしかた

ご注意 電源を入れる前に、本機および外部機器の音量を小さくしてください。突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。

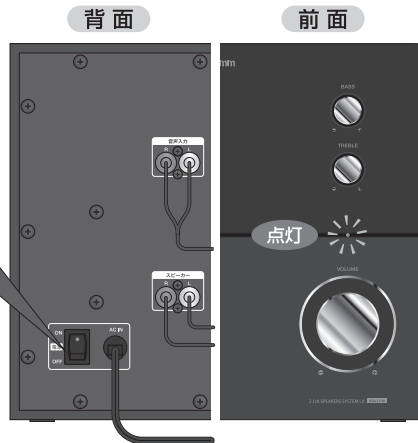
- 1 アンプ内蔵サブウーファー背面の電源スイッチを「ON」にする
電源ランプが点灯します。
※このときに「ポツ」という音が出ますが、故障ではありません。

- 2 外部機器側の電源を入れ、再生等の操作をする
※外部機器の操作方法は各機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

- 3 音量や音質を調節する
最初に本機のVOLUMEツマミと外部機器側の音量調節機能を使って全体の音量を調節し、その後、BASS（重低音）ツマミとTREBLE（高音）ツマミでお好みの音質に調整してください。

- ご注意**
- 周囲の迷惑にならない音量でお楽しみください。
 - 音量操作は優先的に本機のVOLUMEツマミで行ってください。外部機器のイヤホンジャックに接続している場合、接続を解除したときに外部機器側のスピーカー出力が大音量になることがあります。

- 4 電源を切るときは電源スイッチを「OFF」にする
電源が切れると電源ランプも消灯します。
接続を外すときは、双方の電源を切った後に行ってください。



故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源コードが家庭用コンセントに正しく差し込まれていますか。
音が出ない	●外部機器は正しく接続されていますか。 ●外部機器側の電源は入っていますか。 ●本機や外部機器側の音量が最小になっていませんか。 ●サテライトスピーカーとアンプ内蔵サブウーファーは正しく接続されていますか。

主な仕様

電源	AC100V 50 / 60Hz
消費電力	22W
最大出力	総合 17W (アンプ内蔵サブウーファー：9W サテライトスピーカー：4W×2)
周波数特性	35Hz～20kHz
スピーカー	◎アンプ内蔵サブウーファー：口径101.6mm / 6Ω ◎サテライトスピーカー：口径63.5mm / 4Ω×2
SN比	>75dB
接続	スピーカー：RCA端子 音声入力：RCA端子 ※外部機器側はφ3.5mmステレオミニプラグ端子
外形寸法	◎アンプ内蔵サブウーファー 幅155mm×高さ228mm×奥行285mm (突起物含まず) ◎サテライトスピーカー 幅89mm×高さ152mm×奥行97mm (突起物含まず)
質量	約3.6kg
付属品	取扱説明書(保証書付)、音声入力コード(φ3.5mmステレオミニプラグ-RCA端子)

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。 ※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ方法

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で濡らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。